

市と管理者の責任

4月スタートから、たったの2週間程でベテラン看護師が大量に退職する事態になったのはなぜなのか。市と指定管理者は真摯に見直すべきです。

また、4月1日から実施済みの管理運営の変更すら情報を伝えてこなかったことにも憤りを禁じえず、抗議しました。

あまりにも市民感覚とずれています。

全国の失敗から学べ

全国の指定管理者制度導入の自治体が困難に陥っている例から学び危機感を持ちながら追及してきましたが、川西では危惧していたことが次々表面化しているのです。

指定管理者制度導入後、医師・看護師・医療技術者確保ができず、病棟閉鎖や開設予定の診療科が開設できないままになっているだけではなく、経営が順調にいかず、市に払わなければならぬ負担金を払えなくなっている指定管理者もあります。

市が100%借金をして病院建設をするということは、その大きなリスクを背負うということですが、厳しい財政状況の川西市は、そんな無謀なことを行っているわけがありません。国の交付金措置も絶対ではありません。

市と協和会は説明を

あらたな問題が表面化したことを受け、日本共産党議員団はただちに、越田謙治郎市長宛に「市立川西病院の指定管理者制度をやめ、直営での再建をめざす。」

市役所は住民の命を守ることに！



すこと、及び、早急に市民説明会を開催し、情報提供・説明責任を果たすことを求める要請書」を提出。

連休明けの5月7日に市長と懇談。「混乱や傷が浅いうちに、契約違反の指定管理者制度をやめ、体制を立て直すこと」「市民説明会、議会説明会の開催(協和会関係者の出席も)」「現状を患者・ご家族に知らせること」、現状の詳細を明らかにすることと共に、改めて「市立川西病院を公立病院(直営)として堅持、地域医療を確保すること。北部に医療の空白地をつくらぬこと。市の構想は一旦立ち止まり、2015年度発表の計画通り、北部での建て替えを基本に費用負担の在り方を含め、1市3町で考えていくこと」を強く求めました。

情報提供・説明責任を果たすと公約している市長は、早急に市民説明会を行い、住民に対して詳細な情報提供と十分な説明を行うのは当然のことです。

契約守れず新病院 あり得ない

「指定管理者との契約が守られていない中で、肅々と新病院建設にむけての計画だけ推し進めようとしている川西市のあり方は大問題です。しっかりと市民の声を届けていきましょう。」



黒田みちの 市政報告と

おしゃべりの会



5月29日(水)午後2時~4時

東谷公民館3階集会室

どなたでもお気軽にご参加ください。市長への要請書の回答が返ってきているはずですので、ご報告します。何でも聞いて、おしゃべりしましょう。(無料) 主催 日本共産党東谷後援会

6月15日(土)午後3時30分~5時30分

川西病院と地域医療を守る緊急学習会

東谷公民館3階集会室

資料代500円

耳原総合病院 院長 奥村伸二先生

4月23日開催の集いには60名を超える方に来ていただいて、資料が足りなくなって申し訳ありませんでした。どなたでも参加していただけます。一緒に地域医療のことを考えていきましょう。黒田も報告させていただきます。主催 川西の医療と介護をよくする会



大門みきし参議院議員

金田峰生さん

市民アクションin川西

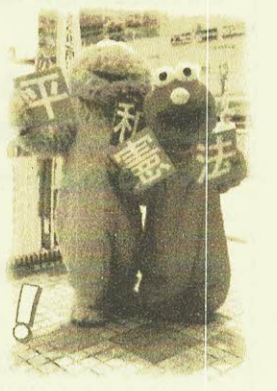


オープニングは長野さんと森川さんの素敵なお歌声♪

黒田は司会や賑やかしを務めました\*^-\*



5月19日(日)、川西能勢口2階通路で「安倍9条改憲NO!全国市民アクション川西実行委員会」主催、市民と野党の共闘の集会在開催。市民と超党派の国会議員、予定候補者や地方議員が訴えました。



憲法クイズ、シール投票、色とりどりの風船配布

守れ憲法平和が一番! 輝け憲法平和が一番!